

<p>国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町 68 番地 N T T 054-284-3608 発行責任者 半場弘恭 2023年6月10日 No.48</p>
--	-----------------------------	-----------	--



地本は、5月27日「袴田さんの早期無罪判決を求める5.27浜松集会」に参加してきました。57年前に清水こがね味噌で発生した殺人放火事件で犯人とされた袴田さんは再審が決定され、無実であったことがほぼ確実となりました。集会は、はじめに寺沢代表が「味噌タンクの中から出てきた衣類に付いた血液の色が変わることがきっかけとなって再審の決定となった」と挨拶がありました。

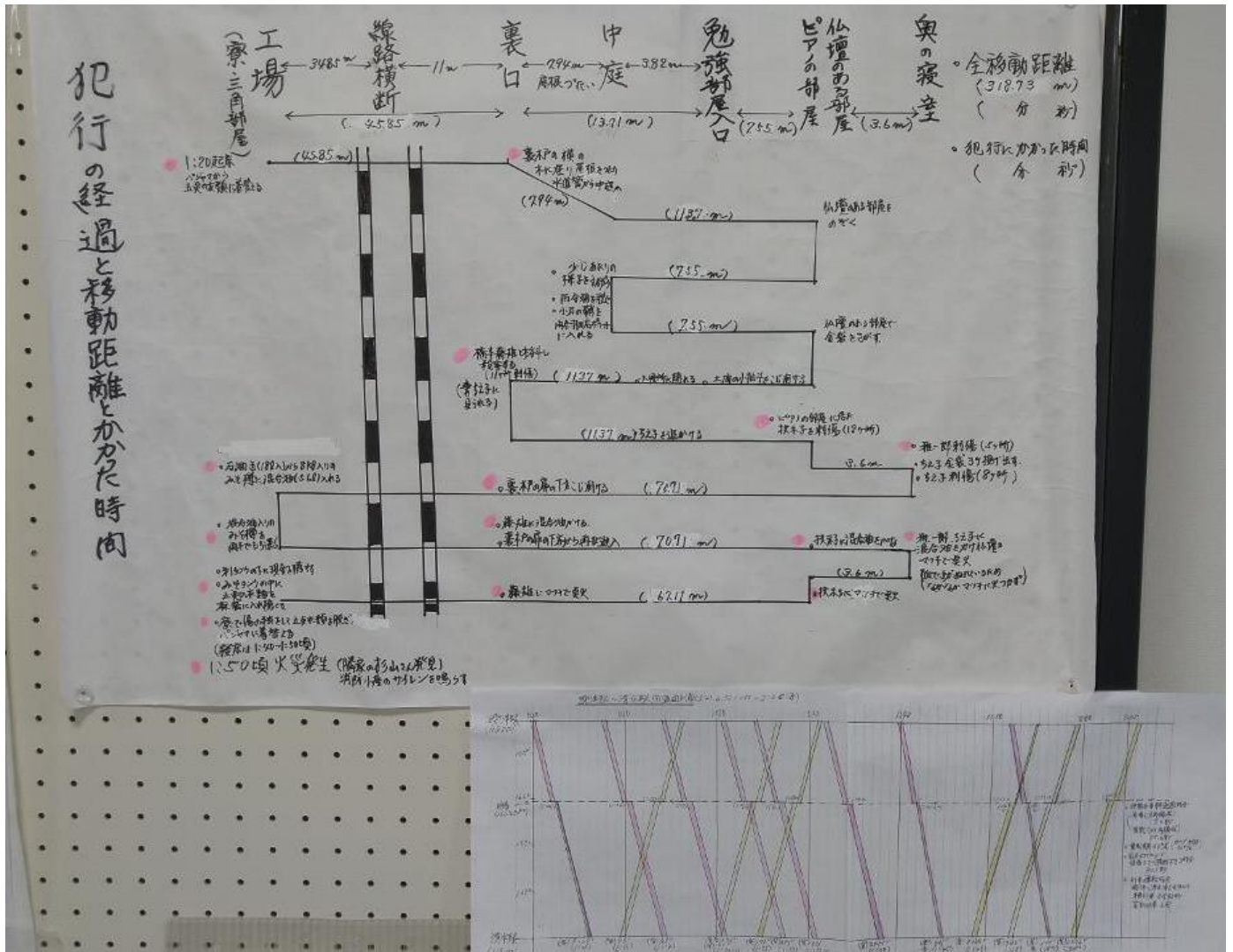
弁護団の弁護士は「専門的知見から科学的機序（ものごとが起こる仕組み）として血液の赤みが消えることは十分に合理的に推測できる。57年間の集大成となる。検察側の新たな有罪の立証は許されない」と裁判で袴田さんの無実を晴らす報告がありました。

また、天竜林業高校事件の北川さんと支援する市民の会のみなさん、狭山事件の再審を求める部落解放同盟の方も見えられ連帯のあいさつがありました。

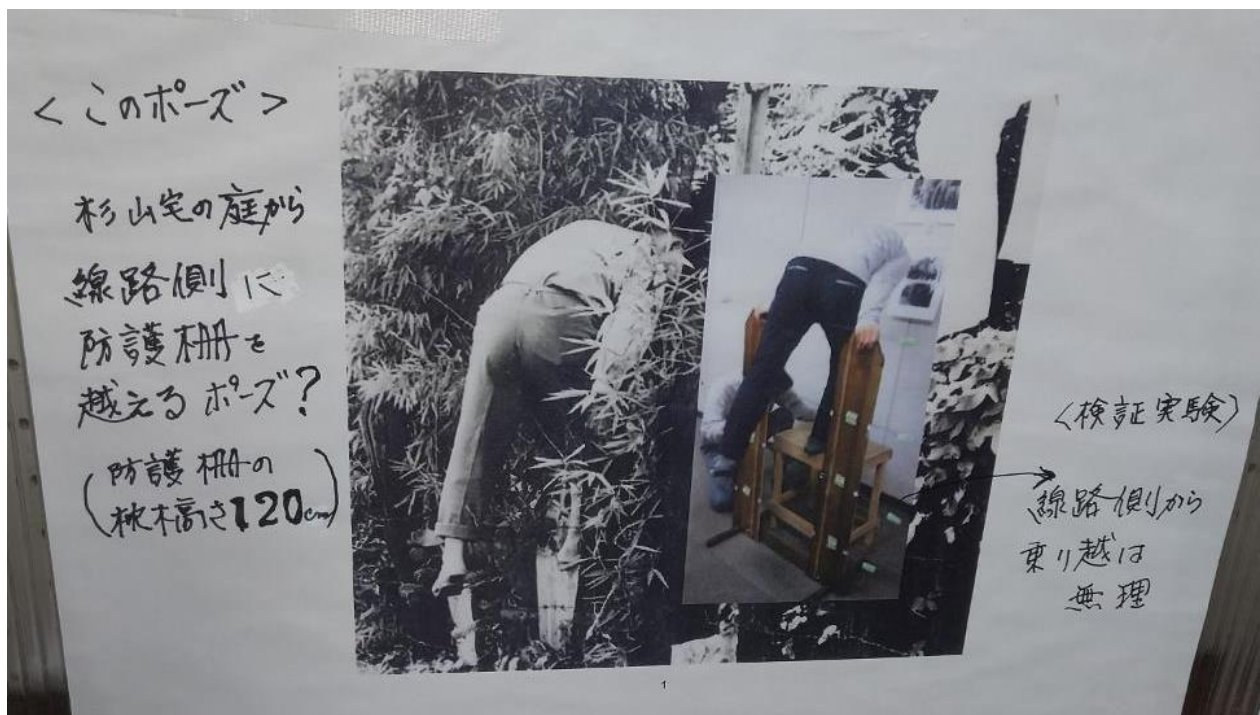
参加者の中からは、警察の証拠のねつ造は許さない！警察と検察は謝罪しないのか！国家の責任だ！と怒りの意見が出ました。

また、会場には検察の主張の「30分の間に線路を2往復路してしての犯行」はありえないとして、犯行現場付近の地図や線路沿いの有刺鉄線の柵の写真や、列車の運行ダイヤが展示され（P2）警察が犯行経路などをねつ造したことがわかりました。

地本から送ったメッセージも披露されました。今後も袴田さんの無実を証明する再審裁判を支え、あらゆるえん罪事件を許さない取り組みと連帯して闘っていきます。



展示されていた当時の列車ダイヤと犯行行程時間の図



乗り越えられない防護柵